

EDID (Extended Display Identification Data) とは？

通常、PC とディスプレイなどをケーブルで接続すると、通常 PC からディスプレイへ映像信号が送られてディスプレイに画面（映像など）が表示されます



ディスプレイから映像が出力される前の舞台裏、現場の名前は「DDC」

一見当たり前の様なことですが、実は PC とディスプレイ間では次のようなやりとりをしています

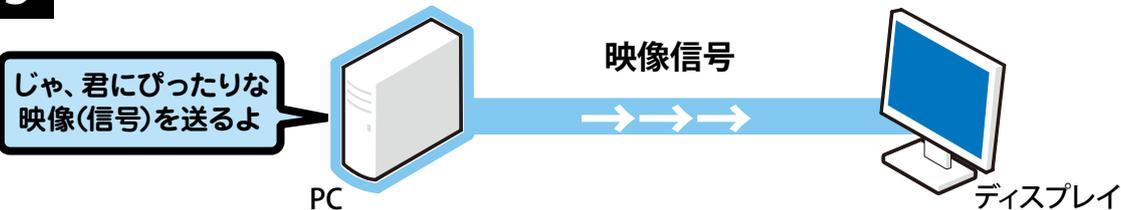
1 PC からディスプレイへディスプレイの情報（EDID）を送信するよう要求します



2 ディスプレイ側からディスプレイの情報が PC へ送られます



3 届いた EDID 情報をもとに PC は、接続されているディスプレイに最も適した映像を出力します



この EDID の送受信は映像を送受信する線とは別の「DDC (Display Data Channel)」と呼ばれる専用線が使用されます

仮に、この EDID の提供が何らかの理由で PC に届かない場合、PC はどういう情報を送信しているのかわからないため、接続されたディスプレイには適さない解像度（画面のサイズ）で出力されたり、最悪の場合、PC から映像が出力されません